

令和5年度 薬剤耐性菌レファレンスセンター会議報告

○世話人 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター 松井真理

○開催日時 令和5年6月2日（金）10:00-11:30 @Zoom

○参加者 各ブロック 薬剤耐性菌レファレンス担当施設

（秋田県、横浜市、岐阜県、大阪府、広島県、愛媛県、熊本県）

*会議要旨は、薬剤耐性菌レファレンス担当施設を通して全国地方衛生研究所へ提供済

○議題

1. 令和5年度 薬剤耐性菌検査に関する研修計画
2. 陽性コントロールDNA等配布
3. カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)病原体サーベイランス
4. 令和5年度 衛生微生物協議会関連の連絡事項
5. その他要望、意見など

資料にて報告：令和4年度薬剤耐性菌検査に関する研修実施報告

以降のスライドの赤字は、レファレンスセンター会議での了承事項、今後の動きなどを示す

1. 令和5年度 薬剤耐性菌検査に関する研修計画

	①基本コース（初心者向け）	②アップデートコース（経験者向け）
日時	2023年9月26日（火） 9:00-18:00 27日（水） 9:00-18:00 28日（木） 9:00-12:00	2023年9月28日（木） 14:00-17:00
場所	国立感染症研究所 村山庁舎 （講義のみZoom聴講可）	Zoomウェビナー （国立感染症研究所 村山庁舎からも参加可）
コース 概要	<ul style="list-style-type: none">・ 講義及び実習・ 健感発0328第4号（平成29年3月28日）別添1～3の検査項目を実施・ 薬剤耐性菌検査及び薬剤感受性試験の基本、国内で分離が多い遺伝子型株・典型的な表現型の株の検査と判定	<ul style="list-style-type: none">・ 薬剤耐性菌検査に関する情報アップデート・ 講義のみ
対象者	原則、令和元年度までの基本コース参加 経験のない方	薬剤耐性菌検査実施経験のある方
人数	30名まで	100名程度まで

→ 日程及び概要についておおむね了承された。感染研にて募集要項を作成する。
レファレンス担当地研は、募集要項を各ブロック内に連絡し、参加希望者をまとめる。
可能な限り希望者全員参加できるようにしたいが、基本コースの希望者数があまりに多い場合の対応は要検討。

2. 陽性コントロールDNA等配布

- ・ 2023年8月下旬頃にDNAセットを一斉配布。DNAの種類は、昨年度（令和4年度）のものにFRI型を追加する予定。
- ・ DNAの追加送付希望があれば感染研へ個別に連絡。年度途中でも対応可。
- ・ 試験手順動画の新規作成予定なし。研修資料及び昨年度までに作成した動画DVDを冬頃に送付することを検討中。

→ 感染研にてDNA配布案内を作成する。レファレンス担当地研は、各ブロック内に連絡して送付希望をとりまとめる。

3. カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）病原体サーベイランス

- ・ CRE 2021年検体採取分の集計結果は、IASR掲載準備中。
- ・ CRE 2022年検体採取分 集計時期について
- ・ NESID病原体検出情報システム更改後（2023/3/13～）の入力について

→ CRE2022年検体採取分の集計時期は改めて案内するが、検査が終了したら順次入力をお願いしたい。なお、NESIDシステム更改後のCRE検査結果入力に関して、現時点では特段のトラブルや問い合わせは受けていない。

4. 令和5年度 衛生微生物協議会関連の連絡事項

→ 岐阜県にて開催。協議会当日に、薬剤耐性菌レファレンスセンター会議は開催しない。

5. その他要望、意見など

→ 研修後に資料を共有してほしいとの意見があった

資料 令和4年度 薬剤耐性菌検査に関する研修実施報告

日程：令和4年10月5日（水）及び6日（木）

方法：ハイブリッド開催（実技は自施設で実施、講義はZoom Webinarで受講）

参加者：64施設121名

内訳 ハイブリッド参加 44施設56名

現地参加 1施設1名

聴講のみ 37施設64名

講師 4施設4名

（敬称略：秋田県健康環境センター 高橋志保、横浜市衛生研究所 小泉充正、
岐阜県保健環境研究所 野田万希子、大阪健康安全基盤研究所 河原隆二）

研修参加者アンケート抜粋

1. 今後の研修方法について、ハイブリッド開催・現地開催のどちらをより希望するか5段階で質問（回答 n=93）

ハイブリッド開催（強く希望・どちらかといえば希望）	38%
現地開催（強く希望・どちらかといえば希望）	34%
どちらともいえない	27%

資料 令和4年度 薬剤耐性菌検査に関する研修実施報告

研修参加者アンケート抜粋

2. 薬剤耐性菌のNGS解析について

Q1. 自施設にNGS装置はありますか？		
ある場合は使用経験を、ない場合は装置の設置予定があれば教えてください。（回答者n=93）		
	n	%*
ある、使用したことがある	19	20
ある、使用したことはない	56	60
ない、年度内設置予定	2	2
ない、次年度以降設置予定	4	4
ない、設置予定未定・不明	11	12
あるかどうか不明	1	1
Q2. 自施設にNGSがある場合、機種を教えてください（回答者n=75、複数回答可）		
	n	%*
iSeq (illumina)	49	53
MiSeq (illumina)	30	32
MinION (Oxford Nanopore)	7	8
MiniSeq (illumina)	1	1
その他	1	1
機種名は不明	4	4
Q3. NGS使用経験がある場合、解読した病原体を教えてください（回答者n=21、複数回答可）		
	n	%*
ウイルス	17	18
薬剤耐性菌	7	8
薬剤耐性菌以外の細菌	7	8
その他	1	1
Q1で「使用したことはない」と回答があったが、病原体名の回答有(ウイルス、薬剤耐性菌以外の細菌 各1)	2	2
Q4. 今後、薬剤耐性菌のNGS解析に関する研修があれば参加を希望しますか？（回答者n=92）		
	n	%*
強く希望する	57	61
どちらかといえば希望する	16	17
どちらともいえない	11	12
あまり希望しない	5	5
希望しない	3	3

*表中の%は、アンケート全回答者n=93に占める割合を示す。